



## 今年も疫病退散の祈りも しめ飾り清祓い

町内の生花店「花と緑の部屋 たかはしダリア」の倉庫で12月11日、お正月用しめ飾りの清祓い（きよはらい）式が行われました。12月13日の正月事始めを前に、新年を迎える準備として行われる恒例行事。玄関用の「玉ジメ」や、神棚用の「宝船」など、約40種類、4000点以上のしめ飾りが御祓いを受けました。



## 地元産さつまいもで賑わいを サツマイモフェスティバル

栗山と由仁のさつまいも生産・販売団体「そらち南さつまいもクラブ」が主催するサツマイモフェスティバルが12月5日、値ごろ市で開催されました。会場では、同クラブが生産した人気品種のシルクスweetや、新ブランドの由栗（ゆっくり）いも、パウンドケーキなどを販売。開場と同時に目当てのさつまいもを買い求める人が集まり賑わいました。



## 育児を楽しく実践 町民講座「家庭教育講演会」

町民講座「家庭教育講演会」が、11月25日、総合福祉センター「しゃるる」で行われ、子育て世代の町民など約40人が集まりました。札幌医科大学医療学部看護学科の田畑久江さんを講師として、リモートによる講演会を実施。参加者は「兄弟げんかの解決法」など、身近な育児の悩みに対して、子育てを楽しく実践するためのアドバイスを受けました。



## 商店街を仲間と冒険 第1回初級・上級リーダー研修会

令和2年度第1回初級・上級リーダー研修会が11月23日、カルチャープラザ「Eki」で行われました。小学生から高校生まで25人が参加。リーダーについてのミーティングや自己紹介の後には5つの班に分かれ、くりやま駅前商店街でさまざまなクイズやお題に挑戦する「くりやまクエスト」を実施。参加者は商店街の各店舗にちなんだクイズなどに挑みました。



## 食事で健康と幸せを 介護学生がヤムズキッチンに出店

まちなかレストラン「ヤムズキッチン」に12月19日、北海道介護福祉学校の学生5人が出店しました。「食事と健康の関連性」をテーマとしたゼミ活動の一環で、店名はアイヌ語で幸せ・おいしいを意味する「イナクルヒンナ」。メニューは学生が手打ちしたわんこ蕎麦などがワンプレートになっており、高齢者が火を使わず安全に調理できるように考案されました。



## 成長していくのが楽しみ サケの里親事業

夕張川自然再生協議会が主催する、サケの里親事業として、サケを卵から育てる里親への卵の引き渡し説明会が12月19日、ふるさといきものの里オオムラサキ館で行われました。町内外から申し込みがあった里親31組が、卵から稚魚になるまで飼育します。里親が育てたサケの稚魚は、4月上旬に雨煙別川の支流から放流します。



## 子どものまちづくり参加機会の充実を 自治基本条例検討委員会が報告

栗山町自治基本条例検討委員会は12月4日、検討結果を報告書としてまとめ、佐々木学町長に手渡しました。条例施行から2回目となる同委員会では、令和2年8月から条例の運用状況や見直しの必要性などについて協議し、現時点で見直しの必要はないものの、子どものまちづくり参加など、運用面での改善や今後の取り組みに関して、21項目にわたり提言しました。



## 復旧目指し協力して作業 ハサンベツ里山で倒木を撤去

ハサンベツ里山で発生した倒木の撤去作業が11月28日に行われ、松原産業株式会社木材部の社員や、北海道介護福祉学校の学生など、約40人が参加しました。倒木は11月10日、雪と風の影響で発生し、柳や松など100本以上の木が倒れました。参加者は散策路などに落下した枝を拾い集め、トラックまで運搬したほか、チェーンソーなどを使い、運びやすく加工していました。

